

慶 春



北海道教区報

第 617 号

発行所

天理教北海道教務支庁
札幌市中央区南 8 条西 11 丁目
電話 011 (561) 1148
FAX 011 (561) 1190
E-mail:tenrikyo.hk@gmail.com
ホームページ
<https://tenrikyohk.com>



教祖 140 年祭

すべて喜び
すべておたすけ

北海道教区

教祖 140 年祭 北海道教区スローガン

新年のご挨拶



謹んで立教 189 年の新春をお慶び申し上げます。
教祖 140 年祭の年を迎えた。

各部各会よりご挨拶申し上げます。

総務部・集会員



笹田 道継



本年は教祖 140 年祭を迎える年となりました。私も集会員として 2 期目、立場も第 2 部門の副委員長、常任委員会委員となりました。後から聞くと質問をした人から選考する慣習があることから指名されたようです。

(→2P 続き)
く、納めるものなのです。」と
おっしゃつておりました。

国会では「年収の壁」として
所得控除について活発な議論が
なされております。皆様は、税
についてどのような認識をもつ
ておられるでしようか?

毎年、12月から1月にかけ
て「年末調整」の事務処理がな
りますが、昨年はその控除に
ついても大きく変化し、その書
類作成が複雑化しております。

教会においても、法人である
以上、給与を定めて、源泉事務
処理を行っている事と存じま
す。その手続きを支部で毎年指
導し、まとめて提出している、
あるいは、各個人が行っている
ところもあるでしょう。しかし
ながら、どちらにしても正確な
税務処理をして、税務署等に提
出しなくてはなりません。

教区教務部

では、これまでそ
れぞれの教会にゆだねており、
詳細な指導はしておりません
が、やはり作成した書類がこれ
で良いのか不安に感じることも
あると思います。そこで、専門
的な税に関する事は税理士等の
分野となります。要望が多け
れば、各書類の作成、毎年のよ

うに変更点がある控除体系を説
明し、各市町村に提出する「給
与支払報告書」、税務署に提出
する「法定証書合計表」また「源
泉徴収票」「納付書」をスムー
ズに作成出来るよう指導できれ
ばとも考えているところです。

教務部として今年の行事計画
は出しておりませんが、何らか
の形で実現ができるべと思案し
ております。どうか、皆様のご
意見をお聞かせ下さい。

その他、各願書類の相談、ま
た提出を、おぢば事務所(祭典
日前後)にても受け付けており
ますので、ご活用下さい。皆様
に寄り添った教務部を目指し、
年祭の年も部員一同、精一杯勤
めさせて頂きます。

本年も、教務部の上に、お力
添え下さいますようお願ひいた
します。



内田 誠司

布 教 部



支部布教部長会議 (ねりあい)

えるきっかけがたくさんあります。
教区としても、毎月の「やま
びこ会」「にをいがけ walker 北
海道」があり、また各支部ごと
の布教実動日をお願いしている
ところです。

また支部行事として、みおし
え学習会、かがやきプログラム、
にをいがけドリル、陽気ぐらし
講座があります。

それぞれの地域の実情に合つ
た企画をゼひとも実行していく
だけますようお願いいたします。
年に数回、海外の方へのに
講座があります！ 参加お待
ちしています。

昨年は、教区布教部の上にお
心寄せ下さりご協力いただきました。
今年は年祭の大切な年、ますま
す前進していきたいものです。

今年の大きな活動として、支
部布教部長会議を年2回開催。
教理勉強として上田嘉世先生の
おふでさき講義を学びたいと思
います。布教講話もどこかのタ
イミングで出来たらいいです
ね！



岡崎 秀人

福 祉 厚 生 部

して、お道のきょうだいとして
互いに喜び喜ばせることが出来
ればと心がけて参ります。

教務支庁における「福フェス」
で数多くの若い人たちが、生き
生きと勇んで活動する姿を見
て、これから北海道教区は大
丈夫だと思いました。

人は人の為に働いて満足を与
えてこそ真の喜びを感じるもの
だと思います。

今年は本部行事で4月25日に
障害者おぢばがえり大会があり
ます。教区においても様々な学
びの場を設けています。

本年もどうぞご参加頂きまし
て、おたすけを進めてください
ます様、よろしくお願ひします。

去年は福祉活動にご協力頂き
ありがとうございました。今年
も限りある予算の中で出来るこ
とを部員一同、教祖の思惑に心
ておたすけを進めてください
ます様、よろしくお願ひします。



福フェス 2025

さあ教祖140年祭を迎えます！
教一齊ひのきしんデー、全教一
齊にをいがけデー、9月のいを
いがけ強調の月など布教に向か
近づくよう努め、横の活動を通

育成部



木岡 喜久子



雅楽講習会

希望あふれる年祭の年を迎える、次代を担う道の後継者の育成のための活動と、「合唱団」「雅楽講習会」「教務支庁ふせこみひのきしん」などの諸活動の上に、心も新たにつとめさせて頂きました。やはり、仲間と共に参加の方々から多くの勇みを頂きました。やはり、仲間と

を頂けるよう尽力させて頂いた

事で充実感が湧いてくるのだと思います。若い年代にも同じ目標で共に取り組ませて頂き、教会や教区の活動に勇んで参加して頂けるよう尽力させて頂いた

いと思います。

特に本年は、「育成連携会議」を立ち上げて、道の後継者の育成に繋げるべく各会の連携を推し進め、当部の諸活動はもとより、教区内の多くの活動の充実や各会のたすけ合いを弘めてゆきたいと思います。

本年も皆様のご理解とご協力

をよろしくお願ひ申し上げま



中村 圭一

年祭活動の一環として、3年間毎月29日に開催いたしました「ふせこみひのきしん」では、

共々につとめさせて頂く中で毎回参加の方々から多くの勇みを頂きました。やはり、仲間と

きな一因となつてゐる。既報の事で充実感が湧いてくるのだとおり、「天理時報」は立教 190 年 4 月より、これまでの月 4 回線で共に取り組ませて頂き、教会や教区の活動に勇んで参加して頂けるよう尽力させて頂いた

とおり、「天理時報」は立教 190 年 4 月より、これまでの月 4 回線で共に取り組ませて頂き、教会や教区の活動に勇んで参加して頂けるよう尽力させて頂いた

庶務部



高橋 太志

昨年 4 月より庶務部長としてつとめさせていただきております。主に会議の議案の確認と会議録の最終確認です。毎月欠かさず会議録を作成してくださる担当の先生には感謝しております。

また、庶務部内にはおぢばが

えり推進課を設け、皆様のおぢ

ばがえりの一助になればと情報

をお知らせしております。

今年は特に本部輸送部から発

行されます新日本海フェリー役員証明証の切り替えがございま

す。あらためてご案内いたします。

45 分と短い時間ではあつた

が教祖と共に、また仲間と一緒に定められた時間を心明るく勇んでつとめることができた。

3 名のグループに分かれて実施。



天理時報オンラインの画面

「紙離れ」の流れが止まらない。本教の主要機関紙「天理時報」もここ数年約 5 千部ずつ発行部数が減少している。その要因には、現役ようぼく数の減少があげられます。それとともに、インターネット環境の発達による若年層の「紙離れ」も大

きな一因となつてゐる。既報の事で充実感が湧いてくるのだとおり、「天理時報」は立教 190 年 4 月より、これまでの月 4 回線で共に取り組ませて頂き、教会や教区の活動に勇んで参加して頂けるよう尽力させて頂いた

るのかもしれない。もつたない話だ。情報発信が要となる部署として、今年こそは取り組んでいきたいと思っております。

定例にをいがけ やまびこ会



その用途は多岐にわたるものとなつてゐる。また各地の活動、人物紹介、各種講話などソーシャルメディアを通して様々な情報を発信している。

私もそうですが、活用できていません。おらず、元々その手の物が得意ではなく、歳を重ねることに無意識に（否意識的に）避けてい



「戸別訪問」

45 分と短い時間ではあつたが教祖と共に、また仲間と一緒に定められた時間を心明るく勇んでつとめることができた。

3 名のグループに分かれて実施。

この会では、12 月 16 日、教務支庁周辺を 8 名が戸別訪問にまわり、布教活動を行った。

時折、強い風が吹く中、2、3 名のグループに分かれて実施。

定例にをいがけ やまびこ会

婦人会



奥村 とう子

いよいよ教祖140年祭が目前となり、今まで以上に喜び心いっぱいで毎日をすごしたいと思います。

婦人会本部より今年の活動について【教えを伝えられる人に】

「教祖がよろづたすけのため教えてくださった、かぐらづとめについて学び、周りの人々自信をもつて教えを伝えていく力を身につけることを目指して取り組みを進めて下さい。」と打ち出しがございました。

天理教婦人会各支部（直属での婦人会の呼び方）より活動内容が発表されると思いますので、委員部長・会員の皆様はそれぞれの支部長様の思いに沿つ

て活動頂きたいと思います。教区婦人会といたしましては、同じ地域に住む婦人会員が互いにたすけ合い、励まし合い、勇ましく活動を婦人会本部の思いにそつて進めさせて頂きたいと存ります。

本年もどうぞよろしくお願ひ致します。



支部主任研修会

青年会



岡田 茂貴

昨年は青年会活動にご理解、ご協力いただき、誠にありがとうございました。皆さまのお力添えにより、道内各地での取り組みを活発に進めることができ、あらためて深く御礼申し上げます。

今期は「熱教—教えに熱く」

を活動方針に掲げ、青年会員らしく、それぞれが信仰をつかめよう、さまざまな活動を進めています。その一環として、各支部の取り組みをさらに推し進めるための「熱教合宿」を企画し、青年会員が互いに学び合

い、地域でのひのきしんや実動の原動力を養う機会として実施いたしました。会員の真剣な姿勢と、支部・教会の温かなつながりから、青年会活動の必要性をあらためて感じることができました。



洞爺湖緑化ひのきしん

繋けられたものであり、有事の際に真価を發揮する尊い歩みであります。

今年の活動におきましては、んでつとめさせていただく事ができました。

2月に開催される「少年会幹部会」での島村委員長の思いに少しでも近づける様、一丸となって勇んでつとめさせていただきます。

教祖140年祭の旬に一人でも多くの会員さんにおぢばに帰つていただき、喜び、感動を伝えられるように、また未来を担う子供たちが一人でも多く、このお道に繋がつていただけるよう、つとめてまいります。

本年も支部長先生をはじめ、支部育成委員長さん、各教会の先生方のお力添えをいただきながら、子供達の笑顔を通して、親神様、教祖にお喜びいただけます様、取組んでまいりますので、変わらずのご理解とご協力の程、よろしくお願い致します。

少年会



大脇 直丸

喜び勇む年祭の年。本年もよろしくお願ひ致します。

また、活動40周年を迎えた「洞爺湖緑化ひのきしん」を、皆様のお力添えにより無事開催できました。長年にわたり継続されてきたこの取り組みは、地域と教内の方々の支えがあつてこそ

一、おつとめの大切さを学び、眞実の心で勤めよう
一、日々に教えを実践し、おつとめを勤める人を増やそう

成人目標

ひながたをたどり 陽気ぐらしの台となりましよう

活動方針

一 立教 189年—



少年ひのきしん隊

支部布教部長会議 布教部

布教部は、12月2日、教務支庁にて今年後半の支部布教部長会議を開催した。



布教講話

今回は布教講話を兼ねて、三重県桑名市の郡山大教会部属攝歩分教会長の浅野元治先生をお招きし、講話いただいた。

浅野先生は、仮死状態で生まれ、おさづけでご守護いただき、専修科在学中にも生死を彷徨う大怪我をおさづけでたすけていた。その後、布教の家で布教師として目覚め、現在の桑名

専修科在学中にも生死を彷徨う大怪我をおさづけでたすけていた。その後、布教の家で布教師として目覚め、現在の桑名

いといて布教に出るところにお話を聞いてくださる方と出会いで出会いかが生まれる…」とおたすけに懸ける熱烈な思いを披露くだされた。

講話後は、①講師への質疑応答、②やまびこ会、布教の家、にをいがけ関係、③本部布教部よりの各種講習会について3グループに分かれ、今後の啓蒙と取り組みについてねりあい解散した。

布教講話は、教祖140年祭後の活動につなげられるようにとの思いで、どなたでも参加できるよう案内した。教務支庁へ来庁された方、YouTube のライブ配信で視聴された方など大勢の

市にて夫婦で心を合わせて布教に歩み約30年、コロナ禍の令和3年（立教184年）教会名称の理と教會長のお許しを戴かれ、今も時間をつくつて布教に出ておられる。

方に聞いていただき、真剣な受講の様子をありがたく感じた。来庁しての布教講話参加者は約50名、布教部長会議は、25支部が参加した。

今年も教務支庁会場、また地方開催を計画しております。基礎講座をにいがけおたすけの講座をにいがけおたすけの講の方もおられ、幅広い年齢層の方にご受講いただき誠に有難うございました。

また、教會長をはじめ、回数を重ねての受講、はじめての受講の方もおられ、幅広い年齢層の方にご受講いただき誠に有難うございました。

基礎講座

11月30日、教務支庁会場において今年最後の基礎講座を開催させていただきました。

奥村教区長に講師をおつとめいただき、当日は受講者13名の御守護となりました。今回は、パワーポイントを使用した講座となり、視覚的にも親神様・教祖のお話が入りやすかつたと思います。

（事務局長佐藤元展）

支部隊長会議

災 救 隊

災救隊（富山知一隊長）は、11月26日、おぢば教区事務所でリモートを併用し支部隊長会議を開催、20名が参加した。宣誓唱和後、教区長より相次ぐ地震や噴火、豪雪・豪雨などの災害を踏まえ、有事に備えた結束力と行動力の重要性について、「日々の真実の積み重ねが、災害を未然に防ぐ一番の心がけで、親神様に届くものだと思わせていただく」「今後も災害の可能性がある中、連絡・連携を密にし、心を一つにして備える

頻発する災害に即応するた



おぢば教区事務所

学生会おつとめ総会

第617号

立教 189 年 (2026) 1月 1 日
事情の治りを願い
病む人にはおさづけを取り次がせていただこう



教区学生会(野村夏実委員長)は、12月7日教務支庁にて北海道教区学生会おつとめ総会を開催。学生23名が参加した。

野村委員長祭主のもと、雅楽が奏楽される中、祭儀式が執り行われ、全員おつとめ衣を纏い、一手一つに座りづとめ、十二下りをつとめ、日頃活動をさせていただける感謝とお礼をさせていただいた。

おつとめ後は、高橋清彦学生担当委員長が奥村教区長の挨拶を代読し、続いて本部学生会

鈴木未来委員より来賓挨拶。野

村委員長の挨拶で式典を終えた。

午後は、自己紹介やゲームで親睦を深め、昨年の春の学生おぢばがえりのビデオを観て、来年の「教祖140年祭学生おぢばがえり大会」の啓蒙を行った。最後に、庁舎ひのきしんをして閉会した。

みんなで一所懸命おつとめ練習に励み、総会で一手一つにおつとめをすることが出来てとても感動しました！

また、今後は3月28日におちばで開催される「教祖140年祭学



厨房掃除



神殿掃除

生おぢばがえり大会”に向けて活動を進めていきますので、各支部の先生方、教會長の皆様にも学生へのお声がけ、どうぞご協力宜しくお願ひ致します。」と野村委員長が感謝を述べた。

● ふせこみひのきしん

教務支庁にて毎月29日

11月29日は、厨房掃除を中心階段、大小会議室、風呂、トイレの各所掃除、窓拭きを行い、17名が参加くださいました。

午後は、自己紹介やゲームで親睦を深め、昨年の春の学生おぢばがえりのビデオを観て、来年の「教祖140年祭学生おぢばがえり大会」の啓蒙を行った。最後に、庁舎ひのきしんをして閉会した。

12月1日 少年会スタッフ会議
2日 一手一つお願いづとめ

支部長会議
地方委員（予算）会議

支部布教部長会議
札幌中南支部例会

会計部会議
しゃゆき会移動例会（夕張大）

13日 学生会おつとめ総会
14日 会計部会議

15日 やまびこ会
16日 やまびこ会

17日 教区長帰本

18日 教区長会議

19日 本部月次祭遙拝式

20日 教務支庁ふせこみひのきしん

21日 教区長帰府

22日 御用納め

23日 24日 25日 26日 27日

立教一八八年・令和7年

● 佐々木 キヌ様 11月12日出直（79歳）
寿都港分教会長夫人（渡島支部）

● 佐藤 和子様 11月15日出直（95歳）
江別分教会前会長（南空知支部）

● 川俣 孝子様 11月16日出直（96歳）
志文分教会前会長（南空知支部）

● 粟林 リツ子様 12月1日出直（94歳）
旭網分教会前会長（網走支部）

● 前田 英子様 12月3日出直（85歳）
芦勝分教会長夫人（千勝支部）

◆ やまびこ会のご案内 ◆
次回は、1月16日13時30分より
教務支庁集合
※毎月16日を
固定日として実施

● 休刊のお知らせ ●
2月の北海道教区報はお休みいたします。

北海道教務支庁日誌抄

けいじばん

◎ 法律に関する諸問題でご相談の方は弁護士を紹介致します。
所属教会を通して教務支庁書記・渡部までご連絡下さい。

◎ 毎月26日に本部月次祭遙拝式を午前10時より行っています。